

KOREA Report

July 2015

CONTENTS

- * Project 1: HOUSE OF DIOR
- * Project 2: THIS IS NOT ABEER

1. HOUSE OF DIOR

Project Overview

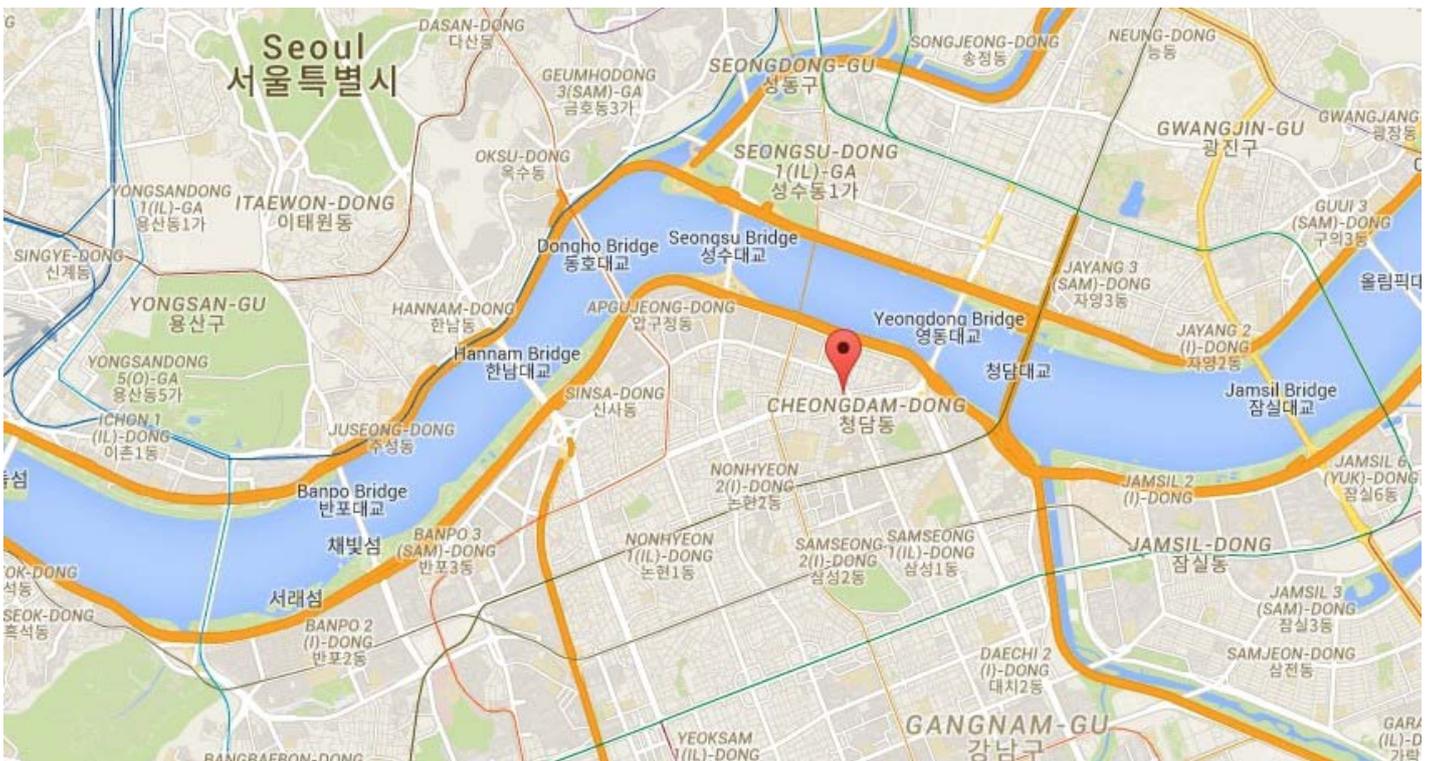
世界的なブランドグループのLVMHのDIORがソウルの清潭洞(チョン담洞)にアジア最大規模のフラッグシップ・ストアを開いた。

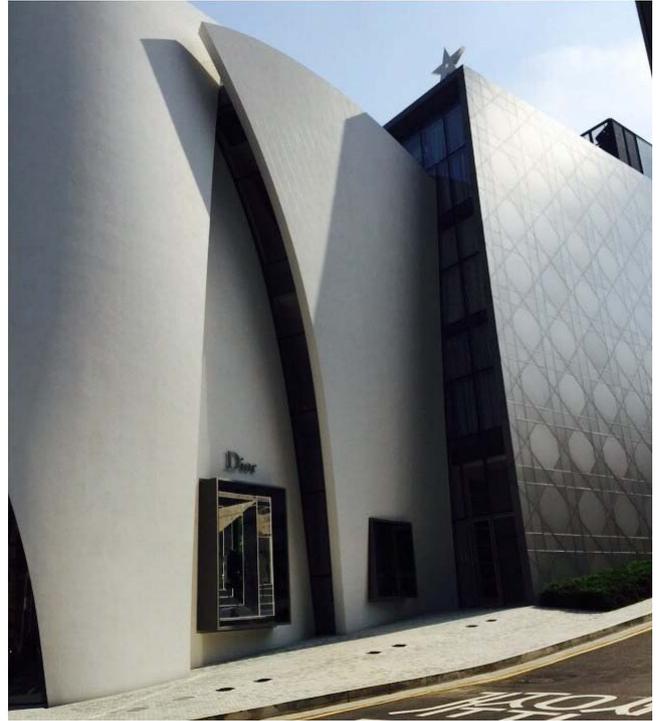
「HOUSE OF DIOR」は建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞を受賞したフランスの建築家Christian de Portzamparcが箱の中から取り出すドレスの形をイメージして設計し、インテリアは建築家Peter Marinoが設計した。Christian de Portzamparcは韓国の伝統衣装である韓服の軽い質感からインスピレーションを受けたとのこと。このため、清潭洞のブランド街に並ぶ六面体の他の高価な輸入ブランドのフラッグシップ・ストアとは異なり、HOUSE OF DIORは、ゆらゆらしている服のように側面と上面が曲線の形であり、左右が非対称である。Peter Marinoがデザインしたインテリアは、モンテニューのディオールブティックで受けたインスピレーションを女性らしい表現をしており、インテリアデザインに加えて世界各国のアーティスト20人くらいがDIORのバッグからインスピレーションを受けて製作した美術品が展示されていた。DIORはこの作品を定期的に交換することにより、お店を単純にショッピング空間ではなく、「HOUSE OF DIOR」という名前と似合うブランドで品格のある空間に昇華させていた。

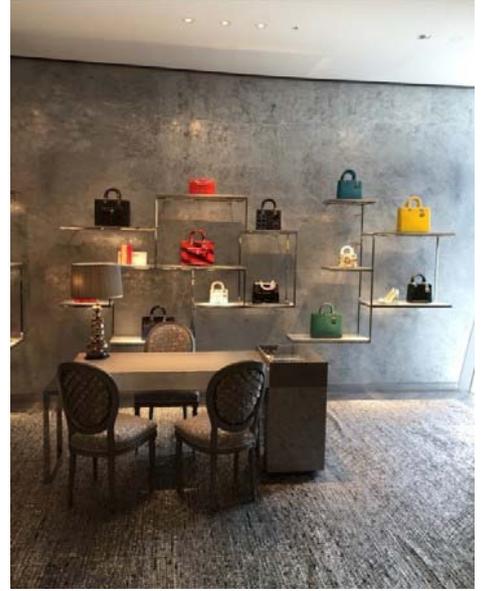
Project Details

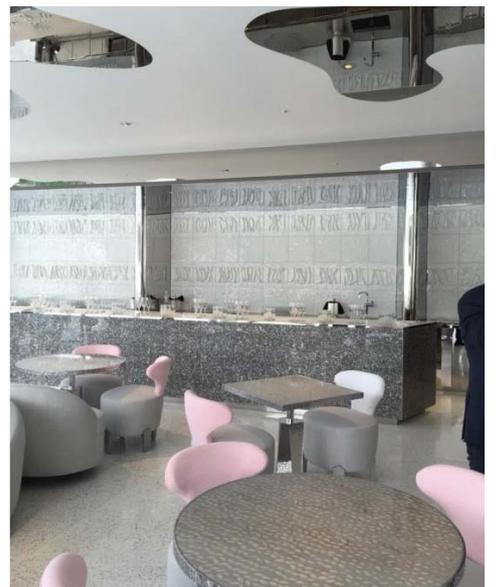
1. Brand: HOUSE OF DIOR
2. Type of Business: Retail Shop
3. Open Date: 6/2015
4. Size: 1,000m²
5. Location: 464, Apgujeong-ro, Gangnam-gu, Seoul, Korea

Location Map









2. THIS IS NOT A BEER

Project Overview

This is NOT a BEERはどういう意味かわからないけどこれはビールではないということだ。映画、ドラマ、CFの撮影場所としても有名な梨泰院(イテウォン)周辺のコーナーから数歩歩いてやっと見つけれられる路地裏の古い家。本館といえる空間は地上と地下の二つのフロアになっていて、その前には適当に付けて置いたような別館みたいな家が小さく置かれていた。一体誰がどうしようこのようなコーナーで商売を始めようとしたのかがまず疑問に思った。インテリアデザイン会社のオーナーが開いたお店で背景があった。彼らは梨泰院の地域でまだ商圈がちゃんと形成されていない路地を探して、その路地の最も入口に位置した建物を借りた。彼らのプロジェクトを始めにその路地の商圈が活性化できることを望む先駆者の誓いだったという。多少、危険な発想であるかもしれないが、ここを訪ねてくる余裕のない顧客の条件を代弁してみようという元々の趣旨を再確認することができたようだ。このプロジェクトを見てデザイナーの努力で街が変わり、商圈に活力を吹き込むことができれば、それこそデザイナーが私たちの社会に与えることができる本来の役割ではないかと感じた。

Project Details

1. Brand: THIS IS NOT ABEER
2. Type of Business: Restaurant
3. Open Date: 4/2015
4. Size: 118m²
5. Location: 34-86, Itaewon-dong, Yongsan-gu, Seoul, Korea

Location Map

